

# 【ヒットエンドラン「志」原稿(原本版)】

<ヒットエンドラン原稿「志」プロフィール>

## ■ 鹿児島市立東谷山中学校

・学校・野球部データ

【学校創立】1980年(昭和55年)

【野球部最高成績】県大会準優勝, 市大会優勝(2011年)

【部長】北山拓己(2009年川内南中時代に全国大会出場)

【コーチ】迫水滝人(外部コーチ)

【部員】72人 = 3年生29人 / 2年生16人 / 1年生27人

【現チームの目標】

・目標 「目指せ! てっぺん」九州大会出場、全国大会出場

・目的 「心」チーム日本一!

【監督の座右の銘】「心・信・新」～心を信じて新なるなり～

## ・プロフィール

吉松 孝展 [鹿児島・東谷山中顧問]

### ● よしまつ・たかのぶ

1970年生まれ、鹿児島県出身。野球経験はなく、新採時代に恩師「新貞雄(しん・さだお)」先生と出会い、野球部顧問としての活動が始まる。国分中で4年(県大会優勝、九州大会出場)、垂水中で5年(県大会三位)、喜界第一中で4年(ソフトテニス部で県大会準優勝・駅伝部・野球部)、2006年に東谷山中へ。6年目を迎える。



<ヒットエンドラン原稿「志」本文 鹿児島市立東谷山中学校>

## 「出会いの力を最大限に生かす本気の野球部顧問」

私には野球経験がありません。しかし、野球部顧問として既に15年以上気持ちよく活動をさせていただき、多くの感動や良い結果をいただきました。それは素晴らしい野球人との出会いがあり、教え子たちと共に育ち、多くの保護者に支えられ、今があると痛感しています。「出会い力」であります。

野球との出会いは鹿児島県中学野球で唯一の全中優勝監督である新貞雄先生との出会いから始まりました。新採の国分中時代に4年間、野球と生徒指導をみっちり鍛えていただいたお陰様で今の私があります。全てが0からのスタートでしたが、何事にも本気で取り組みました。野球との出会いで私の人生も180度変わり、充実した毎日を過ごすことができます。

最近では駒大苫小牧高校の甲子園連覇に貢献した遠藤友彦(通称エントモさん)氏との出会いもあり、野球を更に深く学び、チームとの交流もしていただき、今夏はプラスのスパイラルに入り込み、大きな成果を上げることができました。

また、一つ一つの出会いを大切に思い出や記憶は時間と共に薄れゆくもの、そこで野球部通信を発行し、自分の感じたことなどをありのままに記録に残すようにしています。年間100号を超える通信が完成し、卒業記念でも贈っています。

## 「当たり前前」のことを素晴らしくやる」

チーム内の約束事として、部訓「7つの『しん』の力」をもとに、挨拶や礼儀作法にもこだわりを持ち、感じのよいあいさつ、四秒間の礼、全力の返事、道具や靴並べ、ゴミ拾い、朝掃除ボランティアにも積極的に取り組んでいます。当たり前前」のことを当たり前にするのではなく、当たり前前」のことを素晴らしくやることを目標に人間力向上に努めています。中学生はやる気と根気を持続させるのが難しいので、野球ノートやチーム日誌を毎日記入させ、生活記録表をつけたり、練習メモなどチェックするようにしています。

また、てっぺんの本気の朝礼から学んだ「本気のミーティング」を取り入れ、試合や練習前のモチベーションアップを行ったり、こまめにミーティングを行うことで、心の耳で人の話を聞く、問いかけに答えられる、自分の意見をどんどん言えるようになるなど、自立型人間への成長に役立てています。



## 「練習は訓練！徹底してやらせ切る」

練習は自分が学んできたものを精選して取り入れるようにしていますが、意外とシンプルで分かりやすいものに収まっているように感じます。石井忠道先生（現：松戸国際高校）の指導をベースに基本を大事にしながら行っています。こだわっていることは、どの動きや練習法もできるまで徹底してやらせ切ることです。ただやったという体験版で終わらないように気をつけています。どの練習でも「何のために」と「公式戦を意識して」を合い言葉に取り組みようにしています。そのため同じ練習を同じ時間するにしても意識によって効果は全然違ってくると思います。



【練習メニュー一覧】 ①本気のミーティング→②ランニング・ウォーミングアップ・野球体操→③フットワーク（肩甲骨、股関節の可動域を意識したトレーニング）→④キャッチボールドリル→⑤バント・トスバッティングのドリル→⑥バッティングドリル→⑦守備ドリル→⑧ノック→⑨関係プレイ、フォーメーション練習→⑩走塁ドリル→⑪クールダウン  
一日の練習が終わった時に「野球が大好きだ」「明日も野球がやりたいな」と思いながら終礼が迎えられると最高です。

## 「鹿児島で素晴らしいチームは全国でも素晴らしい」

現在、鹿児島の中学野球も熱く燃えており、平田（吉野東）専門部長を中心に熊谷（大隅中）・亀山（玉龍中）・村山（松元中）副部長らが組織の活性化を図り、顧問同志の繋がりを深め、よき仲間・よきライバルとして競い合いレベルアップをしています。また審判も顧問で行えるよう講習会を行い、野球の勉強も深めています。鹿児島を代表するチームが全国でも通用するように、私自身も「本気の野球部顧問」として自分のチームが勝つことばかりでなく、周りから応援され、夢・感動、そして元気を与えられるようなチーム作りを目指しています。

